

平成26年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	多文化共生とマイノリティをめぐる日米比較研究
------	------------------------

研究代表者

氏名 菅 美弥	所属 地域研究分野	職名 准教授
------------	--------------	-----------

研究分担者

氏名 及川英二郎	所属 歴史学分野	職名 准教授
後藤せいこ	男女共同参画支援室	特命講師
Karen Su Laura Fugikawa	イリノイ大学シカゴ校	Assistant Professor

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

プロジェクトのテーマ、「多文化共生とマイノリティをめぐる日米比較研究」を進展させ、教育的波及効果と社会へのアウトリーチを目的として、2015年7月には共同研究者が在籍するイリノイ大学シカゴ校の教員・学生と合同の演習、授業、フィールド・トリップを行った(共通言語は英語)。さらに、国際シンポジウム「マイノリティとジェンダーの諸相:未来に向けた日米対話」、Part I IIを、内外からの著名なゲストスピーカーを招き一般公開の形で開催した。国際シンポジウムの概要は以下の通りである。

Part I

日時: 2014年7月16日(水) 午後3時～6時

会場: 東京学芸大学 S棟 103教室

パネリスト

Stuart Gaffney (カリフォルニア大学サンフランシスコ校、Marriage Equality USA)・John Lewis (弁護士、Marriage Equality USA.) "Gay Marriage 2014: Two leaders of the freedom to marry movement in the USA tell their personal story and talk about the future of the LGBT movement"

柏崎 正雄 (NPO法人アカー 動くゲイとレズビアンの会) "Before/After: Coming out as a Japanese gay man and a life of activism"

司会・コメント 三部 倫子(お茶の水女子大学)

Part II

日程: 2014年7月19日(土) 午後3時～6時

会場: 東京学芸大学 S棟 203教室

パネリスト

James Welker (神奈川大学) "A Brief History of Sexual and Gender Minorities in Japan"

池田 宏 (特別配偶者(パートナーシップ)法全国ネットワーク) "Where are we in Japan to achieve legal recognition of same sex partnership?"

Stuart Gaffney (カリフォルニア大学サンフランシスコ校、Marriage Equality USA)・John Lewis(弁護士、Marriage Equality USA.) "Freedom to Marry for Lesbian and Gay Couples: Personal, Social and Legal Perspectives from two of the leaders of the marriage equality movement in the USA"

司会・コメント 菅 美弥(東京学芸大学)

以上のような研究活動を通じて、東京学芸大発の多文化共生とマイノリティに関する国際的研究ネットワークを大きく進展させ、日米の人種、エスニシティ、ジェンダーをめぐる歴史と今日の課題についての議論を深めることが出来た。また、日米の結婚観やマイノリティのアイデンティティ形成等のイシューについて活発に意見交換をし、マイノリティの歴史・現状・未来への洞察が深まった。とりわけ、本研究のシンポジウム、研究会等に参加した本学学生にとっては、真の「多文化」的共感力を身につけるための絶好の機会となった。

### 研究成果発表方法

[発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入する。]

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。  
なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

研究代表者 菅 美弥は、2014年移民研究会で2回口頭発表したほか、2015年6月に *Journal of American Studies* に英語論文（査読あり）が掲載決定済み。また、2015年6月日本アメリカ学会年次大会のパネルでアメリカ人招聘研究者とともに英語にて口頭発表を行う。